

令和4年度（2022年度）

事業計画書

社会福祉法人 青梅なかまの会



令和4年度 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
就労継続支援B型事業所なかま亭 事業計画書

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症が収束しないまま令和4年度を迎えます。新たなオミクロン株の感染拡大が始まり、利用者が安心して通所できる環境整備が引き続き優先課題となっています。

ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用、消毒・手洗いの徹底など、生活すべての面での予防対策とともに感染症とどう付き合っていくか、新たな視点での支援も視野に入ってきています。しかし、基礎疾患をもつ利用者もいることから、油断せず慎重に検討をすすめていきたいと考えます。

宅配弁当や売店営業に力を入れ、工夫をこらした販売でより多くのお客様に足を運んでもらえるようにします。お客様とふれあうことで得られる喜び、笑顔が途絶えることのないように季節ごとの行事などを活用していきます。

【重点項目】

1) 個別性に合わせた丁寧な支援と工賃向上

- イ ひとり一人の個性に合わせた支援計画に沿った支援を行うことで、安心して通所できる環境を作ります。特に加齢に伴う作業内容の大幅見直しが必要なメンバー支援に重点を置き対応します。
- ロ 工賃の保障に向けて、新たな顧客拡大と売店販売品の充実、売上げアップに取り組みます。
- ハ 丁寧な支援と全国平均よりも高い工賃というなかま亭の特色を生かしたPR活動を行い、就労意欲の高い利用者が利用しやすい環境を整えます

2) 本業を通じた地域貢献

- イ お客様のニーズにこたえるべく、弁当・売店メニューの充実を図ります。
メニュー開発にあたっては職員に積極的に研究費の活用を促し、取り組みます。
- ロ お弁当・食堂での仕事を活かした地域貢献活動として、中学生以下無料「なっちゃん弁当」を提供し、こどもの食育・健全育成支援を目指します。
- ハ フードバンク等からの食材供給をうけ、災害用保存食や食料を地域住民及び近隣福祉施設等へ提供等、有効活用していきます。

3) 人材育成

- イ 常勤・非常勤を問わず、適材適所な人員配置・育成を推進していきます。
- ロ 新卒・中途採用に力を注ぐと同時にメンター制度を活用し、離職防止対策も行っていきます。
管理職を中心とした何でも相談にのることができる職場環境づくりに努めます。

※新型コロナウイルス感染予防のため、各種行事等の実施にあたっては、地域情勢を鑑みながら対応します

2 開所日数

開所日数 257 日 ※詳細は、年間計画表のとおり

3 令和4年度の利用予定数 33名（現利用者31名 + 羽特新卒2名）

現利用者の状況

2021.3.15 現在

	2度	3度	4度	合計
愛の手帳	1	17	13	31
うち身体障害者手帳取得者	1	3	2	6

年齢別 利用者数	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50歳以上	計
男	0	3	5	4	3	15
女	0	10	3	3	0	16
計	0	13	8	7	3	31

※平均年齢 34.9歳

在籍年数別 利用数	0.5年 未満	0.5～2 年未満	2～5 年未満	5～10 年未満	10～15 年未満	15年 以上	計
男	0	1	0	3	1	10	15
女	1	1	1	6	2	5	16
計	1	2	1	9	3	15	31

※平均利用年数 13.5年

自治体別 利用者数	青梅市	羽村市	あきる野市	計
男	14	0	1	15
女	13	2	1	16
計	27	2	2	31

4 職員の構成

2022.2.15 現在

職員数 26名

正規職員 5名（施設長1名、主任2名、副主任1名、職員1名）

非常勤職員 21名

嘱託医 1名

5 各担当の主たる業務

2F	ぎょうざ・焼きそば・肉団子・ハンバーグ・カレー各種・豚丼粉・乾物量り・賄い食準備・お菓子作り
第一	翌日準備・肉切り・ベースづくり・ピリ辛丼・鶏てり丼・パン作り洗濯・弁当箱洗い・食材調味料購入と保管・容器の保管・容器購入 ドラーピー研究所
厨房	早朝調理 ～ 配膳・片付け・洗い物・翌日準備・売店対応
店・配膳	配膳・ベースづくり・コロケ・チキンライス・ビビンバ・鶏そぼろいなり・店売りパック・デザート・
店・さくら	翌日準備・野菜はかり・スライス・粉はかり・乾物はかり パウチ（ドライカレー・豚丼・カレー）・クッキー袋ずめ
東青梅店	弁当販売・飲み物販売、ゼリー類・お菓子販売
配達・顧客管理	集計・仕分け・配達・集金・回収・車両管理
事務	労務・経理・各種事務全般・就労支援担当、法人事務

6 授産活動援助計画

授産活動としての宅配弁当・売店販売促進を図り、工賃向上に向け更なる収益アップをはかります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、食堂は休業とします

	営業日	売上目標／1日	売上げ目標／1日
宅配弁当	246日	50,000円	12,350,000円
売店（今寺店）	246日	45,000円	11,070,000円
売店（東青梅店）	194日	47,000円	9,118,000円
給食提供	246日	23,000円	5,658,000円
合計			38,196,000円

7 工賃

工賃規定に基づいて支給します。

平均支給目標は、前年度の平均額を上回る金額とします。

令和2年度 平均工賃月額 37,818円

※工賃向上計画に基づき、平均工賃支給額 35,000～45,000円を維持します

8 給食

イ 昼食として給食を実施します。

ロ 自立を助けるための調理実習要素も加えながら、バラエティに富んだ給食を実施します。

ハ 行事食、選択食を充実させます。

ニ 各自の健康状態に合わせて、透析食・減塩・低カロリー・軟飯などの個人状況にも対応していきます。

9 生活支援計画

安定して地域生活が営めるように、利用者の状況に応じて適切な援助を行います。

- イ 決まった時間での通所・退所と基本的な生活習慣の確立
- ロ バランスのとれた昼食の提供による健康維持
- ハ 昼休みの活用（昼食後の歯磨き、過ごし方の支援）
- ニ 身だしなみ、清潔感の育成、衣類着脱援助
- ホ 一人で通所するための援助（交通安全、通所経路確認、見守り等）
- ヘ 感染予防のための新しい生活様式（マスク・手洗い）の習慣化

10 日課

- イ 日課表に基づき行います。
- ロ 各部門及び個人別の日課表に基づき行います。

11 保健衛生計画

- イ 利用者、職員が健康を維持していくために、定期健康診断及び日常の観察を行います。
- ロ 日常の清潔保持の習慣化を目指し、心身の清潔に関する援助マニュアルに基づき支援します。
 - ①定期健康診断 年 1 回
 - ②嘱託医による問診 月 1 回
 - ③細菌検査 月 1 回

12 年間行事計画

行事の計画・実施にあたっては、あらかじめ目的・内容・規模・取り組み方法等について職員会議で話し合い、担当者はその計画に基づいて進めます。

- イ かすみフードフェスティバル（年 1 回）への参加
- ロ 日帰りレクリエーション
- ハ ミニレクリエーション
- ニ 美化デー（年 1 回）メンバー・職員での大掃除
- ホ 永年勤続表彰感謝会（令和 4 年度 受賞対象者該当なし）
- ヘ その他、外部団体行事への出店及び参加 ※地域感染状況を鑑みて対応

13 家族との協力・連携

利用者にとって適切な支援を行うには、家族との連携が大切です。行事開催では家族と連携して利用者が楽しむ行事を作りあげていきます。

- イ 個人面談は必要に応じて行います。
- ロ 家族会への参加（年 3 回）
- ハ 行事出店への協力

14 利用者の権利擁護計画

利用者の意思及び人格を尊重し、利用開始にあたってはよくその意見を聞いた上で同意を得、援助を進めていきます。仕事の内容、集団の構成、行事への参加希望などについては、定期的に話し合いの場を持ちます。

イ 全体朝礼 毎日 9:00~9:10

全員交代で司会を務め、あいさつ、日付の確認、前日の弁当数・店への来客数の発表、当番の確認等に加え、スクワット、標語、手話を全員で行い、日常生活全般について利用者の意見を聞き、又は説明する場とします。

ロ メンバーミーティング PM3:00~3:30

- ・作業グループ別又は全員で行います
- ・利用者について、利用者の給食等に関すること等
- ・行事について
- ・役割分担や計画について

ハ 必要に応じた個人面談の実施

15 虐待防止の推進

虐待防止推進のため、「虐待防止マニュアル」「虐待防止委員会運用指針」に基づき、防止策に取り組みます

イ 虐待防止に関する研修会の実施

ロ 虐待防止委員会の開催（年1回）

○虐待防止責任者 施設長

16 就労支援の計画

イ 青梅市ハローワーク、青梅市福祉施設連絡会と協力し、希望者には就労に向けて支援します。

ロ 食堂や売店、又はお弁当の配達等を通じて、働く姿を広く社会にアピールし、一般就労に向けての手がかりになるようにします。

17 実習生・見学者の受入

必要な感染症対策を講じながら、実習生・見学者の受入は随時行います。

特に、利用希望につながる実習については、積極的に受入を行います。

17 苦情等の対応

イ 利用者及び家族等からの相談・苦情等に対して適切な対応を行うため、苦情処理に関する規定に基づき解決を図ります。

○苦情解決責任者 施設長

○苦情受付担当者 サービス管理責任者

ロ 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員会を設置します。

18 緊急時の対応

- イ 事故や怪我のないように最大限の注意と努力をいたします。
- ロ 予測される危険については、危機管理マニュアルに基づき、日常的に起こさないための配慮をいたします。

19 災害時の対応

火災および地震により大規模な災害が発生したときは、「消防計画書」、「災害時の対応てびき」により、対応します。初動対応後の対応については、「災害用事業継続計画」に基づき対応します。

新型コロナウイルス感染症については「感染症用事業継続計画」に基づき対応します。

- イ 「災害時の対応てびき」を職員全体で見直し、災害時の対応を確認します。
- ロ 有事に備え、年間5回の避難訓練を行います。
- ハ 防災備蓄品の整備
- ニ 自治会との防災協定の締結
- ホ 「事業継続計画」の見直し

20 地域との関係

地域交流の場を増やし、触れ合う内容を充実させていきます。また、地域に必要とされる社会福祉法人としての活動をすすめます。

- イ 自治会に加入
- ロ かすみフードフェスティバルへの参加
- ハ 食堂と売店を有効活用し、体に優しい食事やお惣菜を通して地域住民の健康づくりに役立ちます。
- ニ 青梅市自治会連合会の発行する「すまいるカード」の協賛事業所としてカード持参の方になかま亭定食（700円・900円）から5%引きのサービスをいたします。 ※感染防止のため休止中

21 ボランティアの協力

なかま亭発足当時から延べ100名を超えるボランティアが協力し、現在は行事を中心に20名ほどのボランティアが活動しています。なかま亭とボランティアとの約束事に基づきさらに受入れを進め、利用者と共に、地域ボランティアが活躍する場としての役割を果たしていきます。

受入内容：かすみフードフェスティバル、朝食バイキング、日帰りレクリエーション、縫い物活動
※感染防止のため受入休止中

22 人材計画

(1) 会議

- イ 職員会議を毎月1回開催し、情報共有・検討を行います
- ロ 部門別会議を毎月1回開催し、研修・メンバー支援等について共有・検討を行います
- ハ 主任会を週1回行い、各部門間の情報伝達・課題を迅速に共有・検討できる体制を整えます

(2) 研修計画

職員の資質の維持、向上を図るために必要な研修を行います。

オンライン研修に積極的に参加し、職員共有をはかります。

- イ 利用者の支援を行うために必要な知識を深め、技能を高めるため、研修会への参加、資格取得への援助をします。
- ロ 仕事の中で作り上げてきた各種マニュアルを学び、自己学習を深め身につけます。
- ハ 調理人としての知識を深め、技能を高めます。
- ニ メニュー開発費用の補助を行います。
- ホ 新人育成計画を作成し、育成指導にあたります。

23 広報啓発活動

パンフレット、なかま亭通信、ホームページ等を通じ、なかま亭のことをPRするための広報啓発活動に努めるとともに、障害理解促進に向けた取組を行います。

- イ パンフレットの発行（年1回）
- ロ なかま亭通信の発行（A3両面、カラー刷り）
家族・近隣地域・ボランティア・関係機関・支援者へ配布 1,500部（年3回発行）
- ハ ホームページの運営
- ニ 各店舗パンフレットの発行

24 第三者評価の受審

利用者が福祉サービスの選択に資すること及び福祉サービスの質の向上を目指して、3年に一度、第三者評価を受審しています。本年度は受審年度に該当するため受審します。

前回評価結果はホームページで公開しており、改善項目について取り組みます。

前回受審年度：令和元年度